

令和7年度補正予算

「産学連携・スキリング・
エコシステム構築事業」
補助金事業

大学リ・スキリングプログラム事例集

メニュー②「産業成長」

領域：介護

神戸大学: 異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム ～次世代介護人材・事業の創出～

プログラム概要

① 名称

- 異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム～次世代介護人材・事業の創出～

② 目的

- 深刻化する介護人材不足と介護ニーズの高度化の状況を踏まえ、実務現場で即戦力となる多様な介護関連人材を育成
- 特にICT・AIを生かした介護の高度化、介護事業の経営力強化、多文化共創、介護テクノロジーの社会実装に対応できる人材を育成

③ 対象者層

- 介護従事者、介護事業経営者、ケアテック企業経営者等

④ 育成対象の課題・目指す姿

- 介護現場では人材不足と業務負荷の増大という課題がある
- 科学的介護ができるアドバンスト・エッセンシャルワーカーを育成し、働き手のウェルビーイング向上と離職防止を進め、介護事業の経営改善と生産性向上につなげる
- ケアテック企業など関連産業を巻き込むことで、地域産業全体への波及効果も目指す

⑤ 学修成果

- 介護現場で生かせるDXスキルを身につける
- 高齢者の医学的問題と予防・介護手段の最新情報を理解する
- 経営戦略とビジネスモデルの基本を押さえたうえで、事業とDXを結び付けた企画書作成スキルを身につける

カリキュラム内容

① カリキュラム特徴

- 三層構造の体系的な学びで分野横断的能力を深化**
 - 基盤層**（デジタルトランスフォーメーションDX）：デジタル時代に必須の実践的なDX基礎スキルを学ぶ
 - 中核層**（専門知）：介護、経営学、イノベーションなど専門分野のテーマ別科目群からニーズに応じた選択受講が可能
 - 共創層**（バリュートランスフォーメーションVX）：イノベーションに不可欠な創造的価値を生み出すデザイン思考・システム思考を学ぶ
- 多様な受講形式と柔軟な受講体系**
 - 座学は主にオンデマンドで提供し、PBLは対面又はオンラインの少人数で実施
 - 各層の科目を単独受講することも可能

② アピールポイント

- 修了者にデジタルバッジを発行**
 - 三層を組み合わせ受講した修了者に、「オープンバッジ（異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム）」を授与
 - 修得スキルの社内外での可視化が可能で、キャリアアップ・異動・再配置におけるスキル証明ツールとしての活用が可能

神戸大学: 異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム ～次世代介護人材・事業の創出～

プログラム詳細

⑥ 受講料

- 2万～10万円

⑦ 受講人数

- 170人（目標）

⑧ 受講時間数

- 15 ～ 30時間

⑨ 開講時期・所要期間

- 2026年8月～2027年3月
- 90日間

⑩ 社会人の学びやすさへの配慮

- 主にオンデマンド形式を採用し、時間・場所の制約を解消

⑪ 実施形式

- 座学はオンデマンド、実習は対面/オンライン

申込方法・サイトURL

- 調整中（今後更新予定）
- <https://www.office.kobe-u.ac.jp/ofpre-recurrent/>

担当連絡先

- 神戸大学リカレント教育推進室
- E-Mail : ofpre-recurrent@office.kobe-u.ac.jp

⑫ シラバス

「介護DX型健康リテラシー講座」を例に

【学習目標】

高齢者の医療を理解し、介護に特化した最新技術を駆使・提案し、その効果を分析して組織・社会に発信できる人材を育成

【各回の学習内容】

- ① 高齢者介護・福祉総論（高齢者支援サービスの構造・活用方法を学修）
- ② ウェルビーイング（介護者・要介護者への支援方法を学修）
- ③ 高齢者の身体機能（フレイル等の特徴・検査・ケア・介護指針を学修）
- ④ 高齢者の精神・心理機能（認知症、うつ等の特徴・検査・測定を学修）
- ⑤ 高齢者のための予防・ケア（予防・改善の医療・介護手段を学修）
- ⑥ 介護DX概論（人手不足や多職種連携の課題とICTの役割を学修）
- ⑦ 介護DX各論（ICTやAI等のテクノロジーの方法論を学修）
- ⑧ ⑨ 介護DX実習（ICTやAIを用いた実習：姿勢管理やセルフケアの技術）
- ⑩ ウェアラブル端末DX（身体機能等の情報収集・把握手段を学修）
- ⑪ 統計学基礎・実践（介護状況・健康関連データの統計解析を学修）
- ⑫ ディスカッション（質疑応答・発表・討論）

【講義形態】

- ⑧⑨対面、⑫オンライン、それ以外の回はオンデマンド

神戸大学: 異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム

昨年度プログラム内容

プログラム写真



中核層の1講座の実地研修風景（京都美山かやぶきの里にて）

受講者数

- 150名（基盤層を含めると690名）

実際のプログラム実施内容

- 基盤層・中核層・共創層の3層で合計12科目開講
- オンデマンド（座学）と対面（研修等）を組み合わせで実施

昨年度成果サマリー

満足度

- 94.3%（「非常に満足」「満足」と回答した受講者の割合）
（基盤層を含めると90.5%）

受講生を輩出した企業の声

- DXスキルの修得に加え、講座内容の多様性と質の高さ、他業種との交流が期待できる
- 個社では対応できない専門領域のスキルアップ支援として有効

受講生の声

- 受講前とはデータを見る目と感覚が明らかに変わりました
- 業務に直結する内容だったので、すんなり頭に入ってきました
- 今回の講義で大学の講義に対する期待感が高まり、関連する講義シリーズも受講したいと考えています

昨年度の実施を踏まえた発展ポイント

- 本プログラムに期待された多様性と質の高さ・他業種との交流をさらに拡充
- 組み合わせ受講による育成人材像を明確化
- より専門的な学びを希望する修了生に大学院への接続を推奨

神戸大学: 異分野共創・価値創造リカレント教育プログラム ～次世代介護人材・事業の創出～

プログラム詳細

総合大学の強みを生かした分野横断的な「三層構造」で27科目を開講

■ 基盤層（デジタルトランスフォーメーション：DX）

DX基礎講座:デジタル時代に必須の実践的なDX基礎スキルを学ぶ

- ★ データサイエンス・AI基礎（15時間/オンデマンド：6月中旬以降の受講開始から90日間）
- ★ Python基礎演習（15時間/オンデマンド：6月中旬以降の受講開始から90日間）
- ★ データサイエンス・AI実践ハンズオン（30時間/オンデマンド：6月中旬以降の受講開始から90日間）

■ 中核層（専門知）

専門分野のテーマ別科目群からニーズに応じた選択受講が可能

- ★ DX経営学基礎（15時間/オンデマンド：8月以降の受講開始から90日間）
- ★ 介護DX型健康リテラシー講座（18時間/オンデマンド・オンライン・対面：10月～11月）
- ★ アントレプレナーシップと事業創造（15時間/オンデマンド：1月～3月）
- ★ 他18科目

■ 共創層（バリュートランスフォーメーション：VX）

イノベーションに不可欠な創造的価値を生み出すデザイン思考・システム思考を学ぶ

- ★ 価値創造の考え方（10時間/オンデマンド：10月～）
- ★ 価値創造実践ワークショップ（10時間/対面：1月）
- ★ テーマ別課題解決ハンズオン（28時間/オンライン・対面：10月～11月）

三層（★★★のいずれか）を組み合わせる受講した修了者には「オープンバッジ」を授与
（各層の科目を単独で受講することも可能）

